

平成17年11月11日

## 土木学会鋼構造委員会 小委員会活動報告

小委員会名 (分科会名)	厚板溶接継手に関する調査研 究小委員会	委員長 (分科会長)	坂野昌弘	連絡幹事	本間宏二
活動予定期間	平成16年4月 ～ 平成19年3月				
活動の目的	近年、橋梁の長大化や小主桁化に伴い、極厚の鋼材使用が増えている。そのような鋼材では現場溶接継手が採用されることが多く、鋼橋の安全性、耐久性、経済性を高める上で厚板溶接継手の重要性が高まっている。本小委員会では、厚板溶接継手の疲労、ぜい性破壊に対する安全性、耐久性、施工性、経済性等について調査研究を行うことで、合理的な設計施工指針案の作成を目指す。				
これまでの活動状況	<p>これまでの小委員会開催経緯と主な調査検討内容</p> <p>第4回小委員会 平成16年12月24日(金) 14:00～17:00 土木学会2階B会議室 ○970N/mm<sup>2</sup>級厚肉高張力鋼板の水圧鉄管への適用について他</p> <p>第5回小委員会 平成17年2月10日(木) 14:00～17:00 施工技術総合研究所 ○鋼製橋脚の疲労試験の見学他</p> <p>第6回小委員会 平成17年4月26日(火) 14:00～17:00 土木研究所 ○鋼製橋脚試験体の超音波自動探傷試験の見学他</p> <p>第7回小委員会 平成17年6月28日(火) 14:00～17:00 IHI綾瀬試験所 ○鋼製床版の輪荷重試験見学他</p> <p>第8回小委員会 平成17年8月5日(金) 13:00～16:30 第二東名駒門橋架設現場 ○駒門橋鋼製橋脚の溶接現場見学他</p> <p>第9回小委員会 平成17年10月21日(金) 14:00～17:00 土木学会2階C会議室 ○鋼橋厚板の工場溶接の現状について他</p>				
今後の活動計画 と 目標とする成果	<p>今後の活動計画</p> <p>本年度も年6回の頻度で小委員会を開催し、厚板溶接に関する調査を継続する予定</p> <p>【次回小委員会・WG開催予定】</p> <p>日時：12月20日(火) 14:00～</p> <p>場所：(財)首都高速道路技術センター</p> <p>議題：</p> <p>1. 鋼製橋脚隅角部3線交差部用に開発した垂直AUTについて</p> <p>目標とする成果：</p> <p>・厚板溶接継手の合理的な設計施工ガイドライン(案)の作成</p>				
その他					